

2013年度の情報連絡等について

「重要インフラの情報セキュリティ対策に係る第2次行動計画」に基づき内閣官房（NISC）と重要インフラ事業者及び関係省庁・関係機関から行われた情報共有の件数は次のとおりである。

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
重要インフラ事業者等から内閣官房への情報連絡件数	128件	169件	43件	110件	153件
関係省庁・関係機関から内閣官房への情報共有件数	294件	137件	400件	50件	55件
内閣官房からの情報提供件数	13件	48件	34件	38件	49件

重要インフラ事業者等から内閣官房への2013年度の情報連絡件数（153件）の内訳は次のとおりである。

脅威の類型別	原因の分類別	情報連絡件数
意図的要因	不正アクセス、DoS攻撃	121件（2件）
	コンピュータウイルスへの感染	7件（0件）
	その他の意図的要因	5件（1件）
非意図的要因	ソフトウェア障害	2件（0件）
	ハードウェア障害	9件（4件）
	管理面・人的要因	8件（5件）
	その他の非意図的要因	1件（0件）
災害・疾病	災害や疾病	-
他分野からの波及	情報通信分野（電気通信）からの波及	-
	電力分野からの波及	-
	水道分野からの波及	-
	上記以外の他分野からの波及	-
その他	その他	-

注1：（ ）内の数は行動計画に定める検証レベルに達したIT障害の件数（内数）

注2：脅威の類型は、第2次行動計画別紙3及び実施細目による。

注3：原因の分類で複数の原因が複合している場合、主なものにより分類。